

PRESS RELEASE

日本取引所グループ プレスリリース



株式会社日本取引所グループ
〒103-8224 東京都中央区日本橋兜町2番1号
Tel : 03-3666-1361 (代表)

JAPAN EXCHANGE GROUP, INC.
2-1, Nihombashi-Kabuto-cho, Chuo-ku,
Tokyo 103-8224, Japan
Tel : +81-3-3666-1361

URL: <http://www.jpx.co.jp/>

2016年9月26日

各 位

株式会社東京証券取引所

第5回企業価値向上表彰の表彰候補会社（50社）の公表について

当社では、投資者の視点を強く意識して企業価値の向上を目指す経営を実践している上場会社を表彰する「企業価値向上表彰」を実施しております。この度、第5回企業価値向上表彰の表彰候補会社（50社）が決定しましたので、公表いたします。

これらの会社は、自社の資本コストを認識して経営を行うなど、投資者の視点を意識した企業価値向上経営に取り組んでおり、本表彰の表彰候補会社に選抜されました。

今後、各社の経営の実践状況に関する詳細なアンケート調査の結果等を基に、ファイナリスト（大賞候補会社）の選抜を進めて参ります。

【本件に関するお問い合わせ先】

東京証券取引所 上場部内 上場会社表彰選定委員会事務局
電話 050-3377-7012 (直通)

第5回企業価値向上表彰 表彰候補会社（50社）

～企業価値向上経営に取り組んでいる会社～

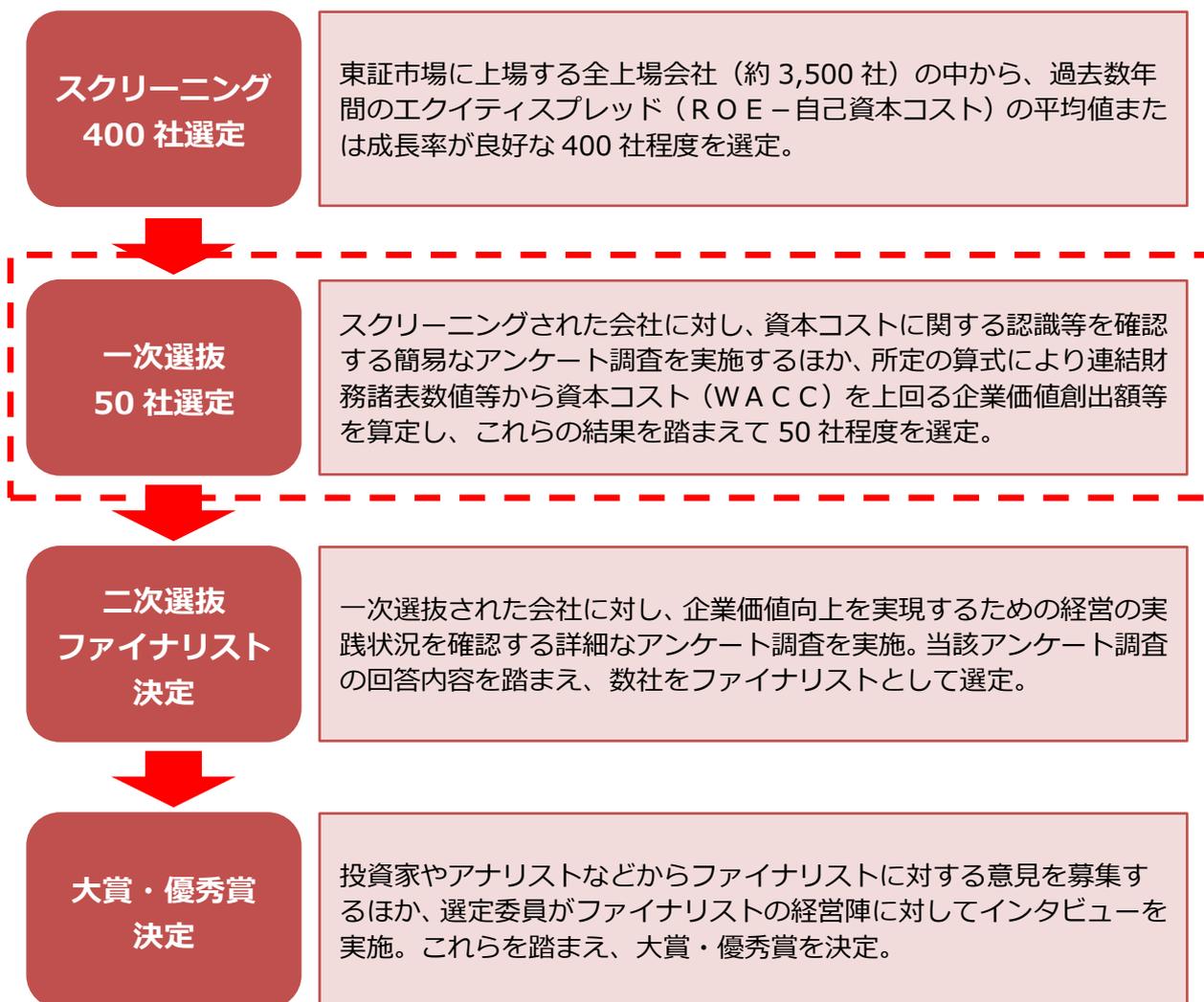
会社名	コード	業種	市場区分
大成建設株式会社	1801	建設業	市場第一部
株式会社長谷工コーポレーション	1808	建設業	市場第一部
大東建託株式会社	1878	建設業	市場第一部
株式会社ジェイエシ-リクルートメント	2124	サービス業	市場第一部
株式会社トラスト・テック	2154	サービス業	市場第一部
株式会社コシダカホールディングス	2157	サービス業	JASDAQ
株式会社アルトナー	2163	サービス業	JASDAQ
明治ホールディングス株式会社	2269	食料品	市場第一部
日本駐車場開発株式会社	2353	不動産業	市場第一部
ディップ株式会社	2379	サービス業	市場第一部
株式会社ベネフィット・ワン	2412	サービス業	市場第二部
WDBホールディングス株式会社	2475	サービス業	市場第一部
株式会社セリア	2782	小売業	JASDAQ
キッコーマン株式会社	2801	食料品	市場第一部
味の素株式会社	2802	食料品	市場第一部
日本たばこ産業株式会社	2914	食料品	市場第一部
アークランドサービスホールディングス株式会社	3085	小売業	市場第一部
株式会社スタートトゥデイ	3092	小売業	市場第一部
株式会社トレジャー・ファクトリー	3093	小売業	市場第一部
株式会社ディア・ライフ	3245	不動産業	市場第一部
東レ株式会社	3402	繊維製品	市場第一部
株式会社エイチーム	3662	情報・通信業	市場第一部
株式会社コロプラ	3668	情報・通信業	市場第一部
コムチュア株式会社	3844	情報・通信業	市場第一部
住友化学株式会社	4005	化学	市場第一部
花王株式会社	4452	化学	市場第一部
アステラス製薬株式会社	4503	医薬品	市場第一部
塩野義製薬株式会社	4507	医薬品	市場第一部
参天製薬株式会社	4536	医薬品	市場第一部
パーク24株式会社	4666	不動産業	市場第一部
株式会社東京個別指導学院	4745	サービス業	市場第一部
株式会社フルキャストホールディングス	4848	サービス業	市場第一部
日本碍子株式会社	5333	ガラス・土石製品	市場第一部

イー・ガーディアン株式会社	6050	サービス業	市場第一部
株式会社 I B J	6071	サービス業	市場第一部
株式会社アサンテ	6073	サービス業	市場第一部
株式会社ディスコ	6146	機械	市場第一部
株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ	6324	機械	J A S D A Q
セイコーエプソン株式会社	6724	電気機器	市場第一部
シスメックス株式会社	6869	電気機器	市場第一部
レーザーテック株式会社	6920	電気機器	市場第一部
カシオ計算機株式会社	6952	電気機器	市場第一部
株式会社村田製作所	6981	電気機器	市場第一部
富士重工業株式会社	7270	輸送用機器	市場第一部
株式会社ハイデイ日高	7611	小売業	市場第一部
株式会社センチュリー 2 1・ジャパン	8898	不動産業	J A S D A Q
株式会社ワイヤレスゲート	9419	情報・通信業	市場第一部
S C S K 株式会社	9719	情報・通信業	市場第一部
株式会社ニトリホールディングス	9843	小売業	市場第一部
ソフトバンクグループ株式会社	9984	情報・通信業	市場第一部

(証券コード順に記載)

企業価値向上表彰の選考プロセス

本表彰の選考は、上場会社表彰選定委員会において、以下のプロセスに基づき進められます。



<上場会社表彰選定委員会>

座長：	伊藤 邦雄	一橋大学 CFO 教育研究センター長 / 一橋大学大学院商学研究科 特任教授
委員：	澤上 篤人	さわかみ投信株式会社 取締役会長
委員：	スコット キャロン	いちごアセットマネジメント株式会社 代表取締役社長

表彰候補会社の株価平均

【概要】

- 第5回企業価値向上表彰の表彰候補会社 50 社の株価の単純平均
- 本表彰の選考対象期間（財務数値の参照期間）の最初の営業日（2013/4/1）を算出起点日とした「ダウ式平均株価」の数値を日次・終値ベースで算出（算出は㈱QUICKに委託）

【推移】



【主要株価指数との比較】（2013年4月1日を100とした変化率の推移）



※ 表彰候補会社の株価平均は代表的な株価指数に比べても高いパフォーマンスを示しています。このメカニズムについては、一橋大学大学院商学研究科の円谷准教授に分析を依頼しており、今後、分析結果を公表していく予定です。

※ 第4回企業価値向上表彰の表彰候補会社の株価平均の状況については、下記URLをご参照ください。

<http://www.jpx.co.jp/equities/listed-co/award/02.html>

PRESS RELEASE

日本取引所グループ プレスリリース



株式会社日本取引所グループ
〒103-8224 東京都中央区日本橋兜町2番1号
Tel : 03-3666-1361 (代表)

JAPAN EXCHANGE GROUP, INC.
2-1, Nihombashi-Kabuto-cho, Chuo-ku,
Tokyo 103-8224, Japan
Tel : +81-3-3666-1361

URL: <http://www.jpx.co.jp/>

2016年11月7日

各 位

株式会社東京証券取引所

第5回企業価値向上表彰に係るファイナリストの選定について

この度、「上場会社表彰選定委員会」（座長：一橋大学大学院・伊藤邦雄特任教授）の審議結果を受け、第5回企業価値向上表彰のファイナリスト（大賞候補会社）として次の4社を選定しましたので、お知らせいたします。

「上場会社表彰選定委員会」の審議の結果、当該4社は、高い企業価値の向上を実現していることに加え、資本コストを上回る企業価値の創造を目指す「企業価値向上経営」を高いレベルで実践していると認められました。

今後、各社の経営陣に対する選定委員によるインタビューや投資者からの意見募集を行い、2017年1月を目途に大賞を決定する予定です。

【ファイナリストとして選定した上場会社】

会社名	証券コード	業種名	市場区分
明治ホールディングス株式会社	2269	食料品	市場第一部
株式会社スタートトゥデイ	3092	小売業	市場第一部
花王株式会社	4452	化学	市場第一部
アステラス製薬株式会社	4503	医薬品	市場第一部

(証券コード順に記載)

【参考】企業価値向上表彰について

企業価値向上表彰は、資本コストをはじめとする投資者の視点を強く意識した経営を実践し、企業価値の向上を実現している上場会社を表彰する取組みです。

本表彰の選定は、次表のプロセスに基づき、有識者で構成される「上場会社表彰選定委員会」の審議により進められます。本表彰の概要や選定経過等については、特設ウェブサイト (<http://ps.nikkei.co.jp/tseaward2016/>) でもご紹介しています。

以 上

<企業価値向上表彰の選定プロセス>

1. スクリーニング（株主の期待に応えてきたか）

約 3,500 社の全上場会社から、株主から見た投資リターンを表す ROE と、株主がその会社に期待している収益率を表す株主資本コストとを比較し、過去 3 年間に於いてその差であるエクイティ・スプレッドが大きい会社又は大きく成長している会社を 400 社抽出。

2. 一次選抜（企業価値の向上を意識し、実績を上げてきたか）

A. 企業価値の向上を強く意識した経営を行ってきたか

スクリーニングを通った 400 社に対してアンケートを行い、資本コストを認識しているか、経営計画と投資採択・撤退基準に反映しているかを尋ね、企業価値の向上を強く意識した経営を行ってきたことを確認。

B. 実績として企業価値を大きく向上させてきたか

アンケートで企業価値向上に対する明確な意識を確認できた会社の中から、実績として企業価値を向上させてきた会社として、直前事業年度の企業価値の増加額が大きい会社又は増加率が大きい会社を 50 社選抜。

⇒ 表彰候補会社として会社名を公表。【9 月 26 日の発表内容】

3. 二次選抜（企業価値向上に対する意識と実績は関連しているか）

一次選抜を通った 50 社に対してアンケートを行い、企業価値向上に対する強い意識を高い実績につなげるために、どのような経営上の規律付けや工夫を行っているかを確認。

強い意識が、優れた規律付けや工夫を通じて、高い実績に結び付いていると認められる会社を 4 社選抜。

⇒ ファイナリストとして会社名を公表。【本日の発表内容】

4. 大賞会社の決定（他の上場会社にとって参考となるか）

上場会社表彰選定委員によるファイナリストへのインタビューでアンケートの回答内容について確認を行うとともに、内外の投資者からファイナリスト会社に対する意見を募集。

インタビューと意見募集の結果を踏まえ、他の上場会社にとって最も参考とするにふさわしい会社を大賞会社を選出。

⇒ 大賞会社として会社名と選考理由を公表。【来年 1 月頃を予定】

【本件に関するお問い合わせ先】

東京証券取引所 上場部内 上場会社表彰選定委員会事務局

電話 050-3377-7012（直通）

第5回企業価値向上表彰 ファイナリストの選定の視点

2016年11月
上場会社表彰選定委員会事務局

上場会社表彰選定委員会では、企業価値を向上させる経営手法は多様であることを十分に踏まえつつ、経済付加価値の創造において一般的に重要とされる「ベストプラクティス」に照らして各社の取組みを評価し、ファイナリスト（大賞候補会社）の選定を行いました。

選定委員会がファイナリストを選定するに当たり重視した視点は、以下のとおりです。

1. 資本コストの認識

企業価値を向上させるための資本政策の策定や投資採択などの経営判断を行うに当たっては、自社の資本コストに係る認識が不可欠であると考えました。

そのため、自社の資本コストの水準を認識していることを選定の必須条件としました。

2. 経営上の枠組みと資本コストを意識した経営の実践

企業価値向上を実現する経営が行われるためには、以下のような経営上の枠組みが導入・整備され、それらの枠組みの中で、自社の資本コストを意識した経営が実践されていることが重要であると考えました。

(1) 経営目標の立案

- ・ 中期経営計画（又はそれに準じる複数年度に渡る計画を含む）が策定されているか
- ・ 資本生産性を意識した経営指標（ROE、ROIC等）が活用されているか
- ・ 自社の最適資本構成のイメージを持ち、それが社内で共有されているか

(2) 経営管理制度の導入・整備

- ・ 新規投資の採択や既存投資からの撤退に係る意思決定を行う際の判断基準が策定されているか
- ・ 投資採択や撤退に係る判断基準に資本コストの概念が組み込まれているか

(3) 評価報酬体系の導入・整備

- ・ 金銭報酬が業績と一定程度連動しているか
- ・ 業績評価に用いる管理指標に資本コストの概念が組み込まれているか

(4) 企業価値向上に向けた啓発活動の推進

- ・ 自社の経営目標や資本コストの概念について社内で共有が図られているか（社内研修の実施等）

上記の各項目に関して評価を行うに当たっては、例えば「株主から付託された資金に関する収益目標（ROE等）が資本コストの水準を踏まえて設定されているか」や「資本コストを上回るリターンの獲得を目指す投資採択基準が活用されているか」など、投資者から付託された資金を有効に活用する経営態勢が整備・運用されているか否かに着眼して、審議を行いました。

3. その他事項

上記の方法に基づき選抜された上場会社について、企業価値の創造による国民経済への貢献の状況なども総合的に勘案し、ファイナリストを選定しました。

以 上

PRESS RELEASE

日本取引所グループ プレスリリース



株式会社日本取引所グループ
〒103-8224 東京都中央区日本橋兜町2番1号
Tel : 03-3666-1361 (代表)

JAPAN EXCHANGE GROUP, INC.
2-1, Nihombashi-Kabuto-cho, Chuo-ku,
Tokyo 103-8224, Japan
Tel : +81-3-3666-1361

URL: <http://www.jpx.co.jp/>

2017年1月30日

各位

株式会社東京証券取引所

第5回企業価値向上表彰の表彰会社の決定について

この度、「上場会社表彰選定委員会」（座長：一橋大学大学院・伊藤邦雄特任教授）による審議の結果を受け、本年度の企業価値向上表彰の表彰会社を決定しましたので、お知らせします。

1. 企業価値向上表彰の表彰会社について

(1) 大賞

会社名	証券コード	業種名	市場区分
花王株式会社	4452	化学	市場第一部

(2) 優秀賞

(証券コード順に記載)

会社名	証券コード	業種名	市場区分
明治ホールディングス株式会社	2269	食料品	市場第一部
株式会社スタートトゥデイ	3092	小売業	市場第一部
アステラス製薬株式会社	4503	医薬品	市場第一部

2. 表彰理由について

花王株式会社、明治ホールディングス株式会社、株式会社スタートトゥデイ及びアステラス製薬株式会社は、いずれも資本コストを上回る企業価値の創造を目指す「企業価値向上経営」を高いレベルで実践していると認められました。

その中でも、大賞を受賞した花王株式会社（以下「同社」といいます。）は、資本コストを上回る企業価値の創造額を表す経営指標である「EVA」を先駆的に導入し、これを様々な経営のプロセスで活用することで持続的な価値創造を実現しているなど、「企業価値向上経営」を特に高いレベルで実践していると認められました。

同社が特に優れていると評価されたポイントは以下のとおりです。

1. 企業価値創造を表す経営指標「EVA」を活用した経営の実践

資本コストを上回る企業価値の創造額を表す「EVA」を先駆的に導入し、その持続的な創造による企業価値の向上を目指して、下記に掲げる経営プロセスの中で活用するなど、企業価値向上を強く意識した経営を実践している。

(1) 経営目標の設定

EVA を重要な経営指標に掲げて年度ごとに目標を設定し実績を管理するほか、資本生産性を表す経営指標 (ROE) に自社の資本コストを大きく上回る高い水準の目標を設定。(同社が想定する資本コスト：5%程度、ROE 目標 (2030 年度)：20%)

(2) 経営判断の仕組み

事業の投資・撤退の判断基準に EVA を用いて、資本コストを上回る企業価値の創造が見込まれるか否かという視点に基づいた経営判断を実践。

(3) 役職員の動機付け

すべての役職員に業績連動報酬の仕組みを適用し、役員報酬についてはその評価基準に EVA を利用。

(4) 社内への意識の浸透

EVA の考え方やその改善ドライバーを研修等で丁寧に解説するほか、経営トップ自らが役職員に自社の経営理念や経営方針、EVA 向上の意義を語り掛けるなど、社内への企業価値創造の意識の浸透に注力。

2. 企業価値向上に向けた首尾一貫した姿勢

1999 年の EVA 導入から現在に至るまで、企業価値の向上を強く意識した経営を継続し、各年度の EVA の実績を指数化して、その推移をアニュアルレポートで公表し続けるなど、企業価値の向上を目指す姿勢を一貫して持ち続けている。

3. 企業価値向上の実現とその持続を見据えたステークホルダーへの還元

近年、ROE は上昇傾向にあり (10.7%、12.4%、14.8%)、企業価値向上の取組みの成果が着実に結実している。また、将来の価値向上の持続性を確かなものとするため、積極的な成長投資を行いつつ、株主や社員、顧客、社会といったステークホルダーへの還元にも注力している。

【本件に関するお問い合わせ先】

東京証券取引所 上場部内 上場会社表彰選定委員会事務局

電話 050-3377-7012 (直通)

【参考1】表彰会社選定の審議の視点について

表彰会社を選定するに当たって、上場会社表彰選定委員会が重視した点は以下のとおりです。

表彰会社選定に当たっての主な審議の観点
1. 経営計画及び経営戦略について －重視する経営目標に投資者視点を意識した企業価値向上の観点が含まれているか。
2. 財務戦略について －株主還元を含めた財務戦略に投資者視点が組み込まれているか。 －事業の投資判断等を行う際の判断基準に投資者視点が組み込まれているか。
3. 株主・投資者とのコミュニケーション態勢について －経営陣が株主や投資者に経営情報を公表することが望ましいという認識・意欲を持ち、実際に公表がなされているか。
4. 企業価値向上経営の推進について －投資者視点を意識した企業価値向上経営の必要性の認識や管理の枠組みについて、社内に対して浸透が図られているか。
5. 企業価値向上に向けた取組みとその成果について －上記1～4の取組みの結果として、実際に企業価値の増大が図られているか。

【参考2】企業価値向上表彰について

企業価値向上表彰は、資本コストをはじめとする投資者の視点を強く意識した経営を実践し、企業価値の向上を実現している上場会社を表彰する取り組みです。

本表彰の選定は、下表のプロセスに基づいて、有識者で構成される「上場会社表彰選定委員会」の審議により進められます。本表彰の概要や選定経過等については、特設ウェブサイト (<http://ps.nikkei.co.jp/tseaward2016/>) でもご紹介しています。

選定方法・選定プロセス
<p>1. スクリーニング（株主の期待に応えてきたか）</p> <p>約 3,500 社の全上場会社から、株主から見た投資リターンを表す ROE と、株主がその会社に期待している収益率を表す株主資本コストとを比較し、過去 3 年間に於いてその差であるエクイティ・スプレッドが大きい会社又は大きく成長している会社を 400 社抽出。</p>
<p>2. 一次選抜（企業価値の向上を意識し、実績を上げてきたか）</p> <p>A. 企業価値の向上を強く意識した経営を行ってきたか</p> <p>スクリーニングを通った 400 社に対してアンケートを行い、資本コストを認識しているか、経営計画と投資採択・撤退基準に反映しているかを尋ね、企業価値の向上を強く意識した経営を行ってきたことを確認。</p> <p>B. 実績として企業価値を大きく向上させてきたか</p> <p>アンケートで企業価値向上に対する明確な意識を確認できた会社の中から、実績として企業価値を向上させてきた会社として、直前事業年度の企業価値の増加額が大きい会社又は増加率が大きい会社を 50 社選抜。</p>
<p>3. 二次選抜（企業価値向上に対する意識と実績は関連しているか）</p> <p>一次選抜を通った 50 社に対してアンケートを行い、企業価値向上に対する強い意識を高い実績につなげるために、どのような経営上の規律付けや工夫を行っているかを確認。</p> <p>強い意識が、優れた規律付けや工夫を通じて、高い実績に結び付いていると認められる会社をファイナリストとして 4 社選抜。</p>
<p>4. 大賞会社の決定（他の上場会社にとって参考となるか）</p> <p>上場会社表彰選定委員によるファイナリストへのインタビューを通じてアンケートの回答内容について確認を行うとともに、内外の投資者からファイナリストに対する意見を募集。</p> <p>インタビューと意見募集の結果を踏まえ、他の上場会社にとって最も参考とするにふさわしい会社を大賞会社に選出。</p> <p>⇒ 大賞会社として会社名と選考理由を公表。【本日の発表内容】</p>